



ARCHITECTURE REVIEW



建築見て歩記 その100 100回記念レア安藤建築 3 —————
 「淡路夢舞台」… 安藤忠雄の設計で1999年に完成しました。ホテルや国際会議場も含む大きな施設です。ここでは、全体に「安藤節」が炸裂し一見無駄とも思える…しかし、それだからこそその豊かな空間が満載です。写真は、会議場に付帯する「茶室」です。水盤上に路地が巡り、様々なデザインの茶室や通路が配置されています。一般の見学は出来ませんが…

CURRENTLY WORKS



NOT A SIGN … 隠された機能を持つ大看板 —————
 クリニックの駐車場と道路との境界に、長大な「サイン」を立てました。横幅17mを超える自立面は、正確には何かを伝える「サイン」ではなくクリニックの姿勢をそれとなく伝える、「環境装置」とも言えるものです。クライアントから伝えられるイメージを、何度も修正しながら、最終的に爽やかで、随所に遊び心を散りばめたグラフィカルボードになりました。

PRIVATE TOPICS



関山の地元探訪記 その19 —————
 行って来ました！…昭和の時代へ！…場所は「北名古屋市役所」に併設している「昭和日常博物館」です。昭和時代の、暮らしの移り変わりを伝えることをテーマに、様々な、懐かしいモノたちが展示されています。その昔、自分の実家での日々がよみがえったような気持ちになりました。昭和人の方々、入場無料ですし、一時のタイムスリップはいかがですか？

EDITORIAL NOTE

11月23日は「勤労感謝の日」ですが「新嘗祭（にいなめさい）」の日でもあります。「新」は新穀を表し「嘗」はご馳走を表します。宮中では、天皇が神に新穀を供え、その後、それを食べるそうです。この日までは、新米を食べることを慎む「物忌み」の時期で、神様に供えた後に、口にしたそうです。

編集担当：太田・藤原、監修：岡島